

犬レプトスピラ症の発生に関して (2024年12月25日時点)

最近、墨田区の動物病院にて犬のレプトスピラ症が診断されました。飼い主さん同士の交流やSNSを通じてこの情報が拡散され、当院へのお問い合わせが増えております。皆様におかれましては、冷静なご対応をよろしくお願い申し上げます。

【確認されている情報】

①墨田区にて1例ないし2例のレプトスピラ感染症が確認されているとの情報があります。特に錦糸公園を散歩している犬で確認されたとのこと。

②しかし①の情報は、保健所や国が正確に把握したものではありません。あくまで動物病院同士の繋がりでも聞いた情報です。従って当院はこの情報の真偽に責任は負えません。

【当院の考え】

①レプトスピラ症は死亡することもある感染症の一つです。また人獣共通感染症の側面もあるので、重要な感染症です。しかし、感染力はそれほど強くありません。散発的に発生する病気で、普通に生活していて感染する確率はかなり低いといえます。人間の新型コロナのような爆発的な感染拡大はありません。従って無闇に恐れる必要はありません。現状飼い主さん同士で、かなり過度な心配が募っているようにみえます。

②当院は今回の発生に基づいた、レプトスピラワクチンの接種を、積極的には推奨しません。その理由が、レプトスピラは様々なタイプ(血清型)があることです。ワクチンで予防できるのは、多くの血清型のうちわずか4種類のみです。しかもこの4種類は現在の日本では主流の血清型ではない、という報告もあります。

【飼い主さんの対応】

①皆さんにお願いしたい予防法は、発生が確認された地区では「川や湿地、湿った土壌」を避けることです。つまりコンクリートの上を散歩することを推奨します。一般的な犬同士の接触で感染を起こす確率は低いですが、過敏になっている飼い主さんもいらっしゃるかもしれませんのでご注意ください。

②このお知らせをみて、安心してくださった飼い主様の対応

→噂話に過敏にならず、上記の予防法のみ守り、普通の生活を送ってください。次に混合ワクチンを打つ際に、レプトスピラまで対応した10種ワクチンを打つかご相談しましょう。ライフスタイルで決定します。

③どうしても心配な飼い主様、居住地区が発生箇所と近くて心配な飼い主様の対応

→レプトスピラ対応ワクチンを打ちましょう。この場合は過去の接種歴に基づき、10種あるいはレプトスピラ単体ワクチンを接種します。しかし短期間に2回の接種が必要になる可能性があります。接種後ご自宅で体調をみてもらいたいので、**ご受診は午前中**にお願いします。

【参考情報】

ワクチン特性と価格(過去のワクチン接種証明書をご確認ください!)

- ①バンガードプラス5/CV (いわゆる6種) ￥6,000 (税抜き)
レプトスピラに非対応です。ご心配な方は10種か単体ワクチンを打ちましょう。3週間間隔で2回接種します。
- ②バンガードプラス5/CV-L4 (いわゆる10種) ￥6,500 (税抜き)
レプトスピラ対応です。過去一年以内に打っていればレプトスピラ予防が可能です。すぐにワクチン接種をする必要ありません。

③バンガード L4（レプトスピラ単体） ¥2000（税抜き）

レプトスピラのためのワクチンです。6種を打っている方で、今回の件でレプトスピラ予防を追加したい方向け。3週間間隔で2回接種します。